

高松市生涯学習センター 生涯学習推進事業[企業との連携事業(まなび CAN・CSR 事業)]
「親子でんき講座」を開催しました。



平成 29 年 8 月 10 日 (木)、四国電力株式会社 高松支店の藤田 雅和さん、村上 雅俊さん、堀川 浩司さん、木村 玉美さんを講師に迎え、「親子でんき講座」を開催しました。

まず、原子力や火力などの様々な種類の発電所があるという説明や、送電線等の発電した電気の道のりについてもお話がありました。パワーポイントを使用した説明だったので、小学生にとってもわかりやすい授業となりました。

次に、手のひらに収まる大きさの備長炭に湿らせた白い紙とアルミホイルを巻きつけて、電池を作り、それをオルゴールに接続すると音が出る実験をしました。オルゴールの音は小さく鳴っていましたが、他の受講者が作った備長炭電池と重ねることで電力を増幅させ、音量を上げることができるので、近くの受講生どうしが協力し合って備長炭電池を重ね、音を聞く姿が印象的でした。



休憩を挟み、IH クッキングヒーターによる調理実習が行われ、パスタとチョコレートフォンデュを調理し、試食しました。講師が IH クッキングヒーターを使用している家庭はどれくらいあるかたずねたところ、利用されているご家庭は少なかったですがパスタを茹でる時間や市販の板チョコを湯せんする時間等を含め、調理時間はガスレンジと変わらず、温度調節ができる便利さに、受講者は感心していたようです。